

平成26年度事業報告及び決算報告等について

平成26年度事業報告

第1 事業の概要

北海道の酪農畜産は、豊かな土地資源などの恵まれた環境を背景に規模拡大を進め、順調に発展してきた。しかし一方では、担い手の高齢化や労働力不足、飼料・資材価格や電気料金等の高騰、TPP交渉による先行きへの懸念など、本道の酪農畜産を取り巻く環境はより厳しいものになってきている。そのような背景から離農等により飼養戸数及び飼養頭数とも減少し、酪農畜産の生産基盤の脆弱化が顕著になってきた。

このような状況の中、本協会は酪農畜産の生産基盤の拡充や生産の効率化及び安定した経営の確立に資するよう、関係機関・団体との緊密な連携を図りながら、経営改善のための診断指導業務や情報提供、生産性向上のための技術指導、家畜登録業務を通じての改良指導、生産者組織の活動支援及び経営の体質強化に資する各種助成事業の実施など、各般にわたる事業を効果的かつ効率的に実施した。

第2 事業の実施状況

1 経営改善指導事業

活力のある安定した畜産経営を育成・確立するため、経営診断の実施、研修会の開催及び各種情報提供等による経営改善指導を行った。

(1) 畜産経営技術指導事業（地方競馬全国協会/補助 19,600千円）

畜産の担い手育成・確保増強に向けた体制の整備・強化を図り、各般の畜産振興対策の効果的推進に努めた。

(2) 強い農業づくり事業：畜産経営技術高度化対策（北海道/補助 3,565千円）

新たな畜産の担い手や地域の中核となる畜産経営を支援するため、経営診断を基に経営改善や生産技術指導と経営管理等総合的な支援を行った。

経営診断・分析支援 35件

(3) 酪農経営支援システム管理運営事業

対象農家について、農協・関係機関よりデータを収集し、その分析結果を現地で説明するとともに地域で開催される研修会等に参画し、農協等による営農指導を支援した。

利用農協数 23農協 分析件数 1,373件

(4) 畜産特別資金等推進指導事業（中央畜産会/補助 30,913千円）

畜産特別資金及び畜産経営維持緊急支援資金の借受者に対する経営改善指導のため、関係機関団体と連携して、借受者に対する計画作成指導、計画達成指導の実施及び融資機関等の指導体制確立のための支援指導を行った。

- ・都道府県支援推進協議会活動の開催 15回
- ・経営事例調査 22件

・融資機関等を対象とした研修会	6回
・協議会による巡回指導	4箇所
・経営改善計画作成、見直し及び達成指導	599件
・濃密指導	15件

2 畜産生産振興事業

畜産の生産振興及び生産基盤の強化に資するため、次の事業を行った。

(1) 強い農業づくり事業：和牛産地高度化

(北海道・ホクレン農協連・ジェネティクス北海道/補助他 13,650千円)

牛枝肉品質評価活用対策

牛肉の美味しさに関するデータの収集・活用について検討を進め、枝肉情報及びDNAマーカー検査協力集団と協力し、繁殖基盤の更なる改善や北海道和牛のブランド化に向けた取り組みを推進した。

・情報等の活用検討委員会の開催	3回	(札幌市)
・先進事例調査	1地区	(石川県)
・官能評価試験の実施	1回	(釧路市)
・高能力繁殖雌牛の利活用の推進	84頭 / 1頭当たり	15千円
・牛肉等の肥育データ収集	186頭 / 1頭当たり	20千円

牛肉の販売モデル集団への助成 5 集団

牛肉の美味しさに関するデータなどを活用した、牛肉の付加価値向上に向けた生産者集団の活動に対し支援を行った。

新規種雄牛の早期交配を推進するための助成 39 頭 / 1 頭当たり 30 千円

新規種雄牛の早期交配を促進し、生産子牛の発育成績や枝肉成績の提供により、その種雄牛の市場性を高める取り組みに対し支援を行った。

(2) 肉用牛経営安定対策補完事業（農畜産業振興機構/補助 132,662千円）

肉用牛生産基盤強化対策事業

生産者集団等が行う生産基盤強化に資する取り組みに対し支援を行った。

・繁殖雌牛の増頭に対する助成		
育種価等要件達成	701頭 / 1頭当たり	100千円
・肉用牛ヘルパー活動に対する助成(1/2)	18利用組合	
・簡易牛舎の整備に対する助成(1/2)		
新築：20千円/m ² 、改造：10千円/m ²	63件	

地域の特色ある肉用牛振興対策事業

生産者集団等が行う地方特定品種の生産基盤の維持強化への取り組みに対し支援を行った。

・褐毛和種の肥育牛計画出荷に対する対策助成	152頭 / 1頭当たり	12千円
-----------------------	--------------	------

(3) 肉牛改良推進事業

和牛改良を推進するため、道内の黒毛和種のデータを分析し、育種改良及び繁殖管理の改善を目的とした指導及び情報提供のほか、道内で収集された枝肉情報と全国枝肉データベース事業による枝肉情報を用いて育種価を算定し、繁殖成績における子牛生産指数の育種価と併せて、関係団体及び生産者への情報提供を行った。

また、優良な家畜の展示評価並びに肉牛の枝肉展示評価を通じて、飼養管理技術や改良増殖技術の向上を図るため、共進会・共励会の後援や協賛を行うとともに、地域の生産者や技術者対象の研修会等を開催し、本道の特色ある雌牛集団の形成や改良に対する普及啓発を行った。

肉牛改良推進のための研修会等の開催

- ・和牛技術研修会 全道 13 地区巡回指導
- ・和牛振興委員研修会 1 回（札幌市）
- ・和牛生産農家後継者研修会 1 回（札幌市）
- ・和牛女性部研修会 2 回（音更町・札幌市）

家畜生体肉質装置を用いた肉質診断の実施

家畜共進会、肉牛枝肉共励会の後援・協賛等 51 回
第 16 回北海道総合畜産共進会・総合事務局運営 肉用牛・馬（音更町）

第 11 回全国和牛能力共進会への取り組み 全共対策本部立上げ

全国和牛登録協会主催の産肉能力検定事業の立会

- ・直接検定（開始・終了） 4 回

家畜改良事業団主催の現場後代検定種雄牛枝肉調査の立会

- ・現場後代検定（前期・後期） 14 回

協会のホームページによる肉牛改良情報の提供 10,557 件（アクセス件数）

和牛経営定点調査（和牛繁殖農家） 8 戸

(4) 肉用種雄牛管理事業（貸付先/ 533 千円）

肉用牛経営の体質強化に資するため、北海道が所有する肉用種雄牛を現地に配置し、その管理を委託した。

〔管理委託頭数〕

（単位：頭）

区分	前年度末	返納	年度末	貸付先
黒毛和種	7	1	6	ホクレン稚内・函館・本所 十勝農協連
アンガス種	7	2	5	JA 北オホーツク（雄武町） 根室生産連
計	14	3	11	

(5) 豚登録改良事業（生産者/ 651 千円）

豚の登記・登録を実施することにより、品種の証明を行い、育種改良及び遺伝子能力評価のデータを効率的に収集した。また、登録規程の周知を図るため、登録審査員を対象とした講習会等を後援するとともに、豚枝肉展示評価を通じて飼養管理技術及び改良増殖技術の向上を図るため、枝肉共励会を後援した。

〔実績件数〕 (単位：件・%)

区 分	子豚登記	種豚登録	一腹記録 証 明
件 数	276	214	184
前年度対比	72.4	72.5	72.7

(6) 強い農業づくり事業：めん羊等推進事業（北海道/補助 197 千円）

優良な系統の普及・啓蒙を推進するとともに、種雄羊生産農場からのスクレイピー抵抗性羊の供給体制の確立及び季節外繁殖技術の普及を図るため、研修会を開催した。

研修会開催 2回（札幌市）

(7) めん羊登録改良事業（生産者/ 1,071 千円）

めん羊の血統登録を実施し、品種の証明及び育種改良を推進するとともに、出生確認証明を発行することにより個体識別を促進し、円滑な改良・増殖を推進した。

また、優良なめん羊の展示評価を通じ、飼養管理技術及び改良増殖技術の向上を図るため、全道サフォーク種共進会を後援した。

〔実績件数〕 (単位：件・%)

区 分	登 録		証 明	
	血 統	予 備	出 生	血 統
件 数	453	4	1,670	-
前年度対比	117.6	200.0	73.3	-

(8) 酪農畜産関係組織の事務局の運営

生産振興・消費拡大・ブランド化の推進等のため、畜産生産者等が組織した各種協議会の事務局を担当し、生産者の支援を行った。

北海道和牛振興協議会

黒毛和種の生産者で構成され、和牛の改良増殖を推進することにより、和牛生産基盤の充実と経営安定に資する活動を行った。

北海道和牛生産戦略会議

本道における和牛の産地形成の確立と生産振興の効果的な推進を図るため、道内関係者と連携を図りながら和牛振興への取り組みを行った。

北海道肉用牛生産者協議会

肉牛を飼養する者、賛同する個人及び団体が構成され、肉牛の振興に資する各種の活動を行った。

北海道産牛肉消費拡大強化対策実行委員会

道内の肉牛生産者自らが取り組む道産牛肉消費拡大事業に、関係機関と連携し積極的に支援を行った。また、各種イベント等を企画し、道産牛肉のPRに努めた。

北海道あか牛振興協議会

あか牛を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、道内におけるあか牛の生産振興に資する取り組みを行った。

北海道めん羊協議会

めん羊を飼養する者、賛同する個人で構成され、北海道におけるめん羊の生産振興に資する取り組みを行った。

北海道指定種豚場協議会

道内で種豚を生産する個人等で構成され、優良種豚の確保・改良を促進し、養豚の生産振興に資する取り組みを行った。

北海道養鶏会議

鶏を飼養する者、賛同する企業及び団体等で構成され、北海道における養鶏の生産振興に資する取り組みを行った。

北海道畜産技術連盟

道内の関係機関・団体と連携を図りながら、畜産技術の普及啓発のために畜産関係新技術発表会の開催などの取り組みを行った。

北海道地方公営競馬振興協議会

道内における地方競馬と馬事畜産の振興及び普及啓発を図るための支援を行った。

北海道自給飼料改善協議会

道内における自給飼料基盤の向上及び改善のための調査や研修会の開催などの取り組みを行った。

3 補填金交付等事業

肉用牛肥育経営の安定のため、次の事業を行った。

(1) 肉用牛肥育経営安定特別対策事業(農畜産業振興機構/補助他 112,399 千円)

肥育牛経営の安定を図るため、農畜産業振興機構からの補助金及び肥育牛契約生産者からの積立金により肥育安定基金を造成し、牛枝肉価格等の変動により肥育牛経営の収支が悪化した時に粗収益と生産費の差額に対する補填を行った。

また、平成 23 年度において肉用牛肥育生産者に交付した緊急支援金の返還に関する業務を行った。

基金造成及び補填金交付実績

〔積立金単価〕

(単位：円)

品種区分	生産者積立金	補助金	合計
肉専用種	18,000	54,000	72,000
交雑種	30,000	90,000	120,000
乳用種	20,000	60,000	80,000

〔基金造成実績〕

(単位：円)

品種区分	基金造成額			
	生産者積立金	補助金	運用益	計
肉専用種	449,166,075	1,346,976,000	1,576,621	1,797,718,696
交雑種	1,186,858,600	3,560,789,025	2,563,397	4,750,211,022
乳用種	2,371,157,950	7,123,230,000	4,166,980	9,498,554,930
合計	4,007,182,625	12,030,995,025	8,306,998	16,046,484,648

〔補填金単価〕

(単位：円)

品種区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
肉専用種	-	-	2,900	5,900	24,200	-	-	-	-	-	-	-
交雑種	36,700	39,400	63,500	72,500	67,200	62,000	33,400	22,200	29,600	25,700	3,200	-
乳用種	44,300	45,700	48,900	54,300	58,800	65,400	64,200	48,500	54,800	61,900	63,600	57,100

〔補填金交付実績〕

(単位：頭・円)

品種区分	対象頭数	補填金額		計
		積立金	補助金	
肉専用種	6,957	17,620,200	52,913,400	70,533,600
交雑種	37,641	386,564,800	1,162,257,400	1,548,822,200
乳用種	117,189	1,626,222,050	4,887,593,350	6,513,815,400
合計	161,787	2,030,407,050	6,102,764,150	8,133,171,200

緊急支援金返還実績

(単位：戸・千円・%)

区分	戸数	交付金額	返還額	未返還額	返還率
交付実績	322	9,320,300	9,035,910	284,390	96.9
全額返還	280	7,710,750	7,710,750	-	
一部返還	42	1,609,550	1,325,160	284,390	

4 普及啓発推進事業

消費者の畜産に対する理解の促進や、畜産物の消費拡大を図るため、消費者に対しPR活動及び情報提供を行った。

(1) 北海道産牛肉情報公開システム管理運営事業(利用農家/1,924千円)

肉用牛の生産履歴等を公開する「北海道産牛肉情報公開システム」の維持・管理を行うとともに農協や関係機関等協力のもと、生産農家への普及啓発により更なる利用促進を図った。

利用農家

125戸

(2) 畜産関係団体調整機能強化事業(中央畜産会/委託 250 千円)

地方競馬の振興に資するため、本協会や北海道地方公営競馬振興協議会が主催する競馬ファン対策イベントに対する支援を行った。

イベント支援 2回

5 肉牛登録推進事業

子牛登記・登録を実施することにより、正確な血統を証明し、品種としての信頼性の向上を図るとともに、地域和牛集団の確立を推進した。

また、生産者の登録審査の意義に対する理解を深め、生産基盤の充実強化を図るため、地域技術員の審査技術の指導を行った。

肉牛登録推進事業(生産者/142,000 千円)

[実績件数]

(単位:件・%)

区 分		子牛登記	登 録
黒毛和種	件 数	60,408	6,166
	前年度対比	85.2	113.2
褐毛和種	件 数	654	51
	前年度対比	88.8	28.4
日本短角種	件 数	120	87
	前年度対比	111.1	235.1
外 国 種	件 数	73	41
	前年度対比	76.8	51.2

[登録審査員の養成及び技術向上]

地方審査委員認定講習会 1回(安平町)

子牛検査委員会及び地方審査委員会審査研修会 1回(安平町)

6 機械施設リース事業

酪農畜産経営の体質強化に資するため、施設・機械の借受、貸付を実施するとともに施設の有効利用を促進するための指導を行った。

〔取扱実績〕

(単位：台・千円・%)

区 分	台 数	金 額	前年度対比 (金額)
協会有リース 再生バルククーラー 新品バルククーラー他	22	125,368	136.7
畜産近代化リース 自給飼料生産利用機械施設 生乳生産合理化施設 畜産環境改善機械施設	30	140,171	40.7
畜産環境整備機構 経営リース	27 (18)	218,641 (64,992)	120.8 (188.3)
たい肥調整保管施設(1/2補助付)	(9)	(153,649)	(104.9)
合 計	79	484,180	78.5

7 受託事業等

関係機関・団体からの受託等により、畜産に係る調査業務等を行った。

(1) 動産担保融資支援事業(日本政策金融公庫・生産者/5,427千円)

日本政策金融公庫、十勝畜産農業協同組合と締結した「肉用牛A B L協定」に基づき、肉用牛及び乳用牛を担保に運転資金を融資した農家についてモニタリングを行った。

モニタリング 9件

(2) 公庫資金活用推進事業(日本政策金融公庫/委託300千円)

公庫資金が地域の実態に応じて総合的かつ計画的に活用されるために、地域農業の実態把握と問題解決に向けた意見交換会や、公庫資金の計画的な活用に係る研修会等を行った。

研修会の開催 2回

(3) 畜産A B L推進体制モデル実証事業(中央畜産会/委託2,231千円)

地域における畜産A B L導入調査のほか、モデル実証農家における経営診断や経営モニタリング体制の構築、貸倒れ時に想定する家畜の飼養・処分体制の構築等のための検討会等を行った。

体制構築モデル調査数 4戸

検討会の開催 3回

(4) 動産担保融資活用状況聞き取り調査事業(中央畜産会/委託 279 千円)

畜産経営者の畜産 A B L に対する現状認識、ニーズ、関心事項及び問題点等を把握するため、アンケート調査を行った。

アンケート件数	241 件
聞き取り調査件数	2 件

(5) 農業経営サポート調査事業(中央畜産会/委託 2,200 千円)

日本政策金融公庫による農家への資金融資等に係る、農家の経営計画作成、経営課題の把握や解決策の提案などを行った。

計画作成支援、経営調査	10 件
-------------	------

(6) システム畜舎確立事業(中央畜産会/委託 342 千円)

災害時等の緊急時に、即時に安価に対応できる畜舎設計に資するための調査等を行った。

調査件数	1 件(肉用牛:長沼町)
------	--------------

(7) 乳用種初生牛調査事業(中央畜産会/委託 1,275 千円)

酪農経営における乳用種初生子牛の生産費の実態を調査した。

調査件数	75 件
------	------

(8) 国産畜産物安心確保等支援事業(中央畜産会/委託 256 千円)

乳用牛、肉用牛、めん羊、山羊、馬、小動物及び実験動物の飼養頭数及び飼養戸数について調査した。

(9) 植生等調査事業(日本草地畜産種子協会/委託 5,000 千円)

植生改善の取り組みに資するため、道内の植生状況の調査・取り纏めを行った。

植生状況取り纏め	2,567 筆
----------	---------

(10) 草地難防除雑草駆除対策事業(日本草地畜産種子協会/委託 434 千円)

自給飼料基盤に立脚した安定的な畜産経営の実現を図るため、難防除雑草の繁茂した生産性の低い草地から高位生産草地への転換を進める事業の推進指導を行った。

(11) 飼料自給力強化支援事業(日本草地畜産種子協会/委託 1,882 千円)

畜産経営の高度化を図るため、リース方式により導入した機械装置等の審査及び検収等を行った。

実施件数	7 地区(機械リース、実証圃設置、公共牧場整備、粗飼料広域流通)
------	----------------------------------

(12) 畜産近代化リース貸付指導等事業(畜産近代化リース協会/委託 4,279 千円)

畜産近代化リース事業による貸付機械の適切な管理を図るため、現地調査指導を行った。

調査指導	75 基
------	------

(13) 地域経済状況調査事業(北海道農業公社/委託 2,601 千円)

酪農経営等の経済状況等の調査を行い、地域・規模別の経営類型資料を作成した。

調査地域	5 地域
------	------

- (14) 自給飼料改善指導事業（ホクレン農協連・北海道農業公社・雪印種苗/負担金 1,050 千円）
近年の草地における様々な課題に取り組むため、関係団体により設置した「北海道自給飼料改善協議会」と連携して、自給飼料基盤の向上及び改善のための調査、支援指導のほか研修会を開催した。

自給飼料生産優良事例発表会の開催 1 回（札幌市）
自給飼料改善セミナーの開催 1 回（札幌市）

8 北農ビル賃貸事業

北農ビルの一部所有者として、北農ビルの管理運営を行った。

第3 会議等の開催

1 総 会

平成 26 年度 通常総会 平成 26 年 6 月 18 日

〔議 事〕

議案第 1 号 平成 25 年度事業報告及び決算報告について
議案第 2 号 役員補欠選任について
議案第 3 号 平成 26 年度役員報酬について
議案第 4 号 平成 26 年度会費の負担及び納入について
報告事項 平成 26 年度事業計画及び収支予算について

2 理 事 会 - 議決事項 -

〔第 1 回〕 平成 26 年 4 月 18 日

役員推薦会議における推薦委員の選任について
肉用牛肥育経営安定特別対策事業業務規程の一部改正について

〔第 2 回〕 平成 26 年 6 月 6 日

平成 26 年度通常総会の提出議案について
平成 26 年度通常総会の開催について
肉用牛肥育経営安定特別対策事業業務規程の一部改正について

〔第 3 回〕 平成 26 年 6 月 18 日

役付理事の互選について

〔第 4 回〕 - 報告事項のみ - 平成 26 年 12 月 12 日

平成 26 年度事業の実施状況について他

〔第 5 回〕 平成 27 年 3 月 26 日

平成 27 年度事業計画及び収支予算について
平成 27 年度資金調達及び設備投資の見込みについて
諸規程の一部改正について
永年勤続者の表彰について

3 監 査

〔監事監査〕

平成 26 年度監事監査（平成 25 年度決算分）

平成 26 年 5 月 28 日

〔内部監査〕

第 1 回	総務部	平成 26 年 7 月 8 日～10 日
第 2 回	事業推進部	平成 26 年 9 月 2 日～ 4 日
第 3 回	リース部	平成 26 年 11 月 25 日～27 日
第 4 回	経営支援部	平成 27 年 1 月 27 日～29 日

第 4 会員及び役職員数

〔会 員〕

項 目	期 首	期 中		期 末
		増	減	
会 員	214	-	-	211
団 体	56	-	2	54
農 協	86	-	1	85
市町村	72	-	-	72

期末は、平成27年3月31日現在

〔役 員〕

項 目	期 首	期 末	摘 要
役 員	12	12	うち常勤理事1名
理 事	10	10	
監 事	2	2	

期末は、平成27年3月31日現在

〔職 員〕

項 目	期 首	期 中		期 末
		増	減	
職 員	32	2	2	32

期末は、平成27年4月1日現在

事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。